

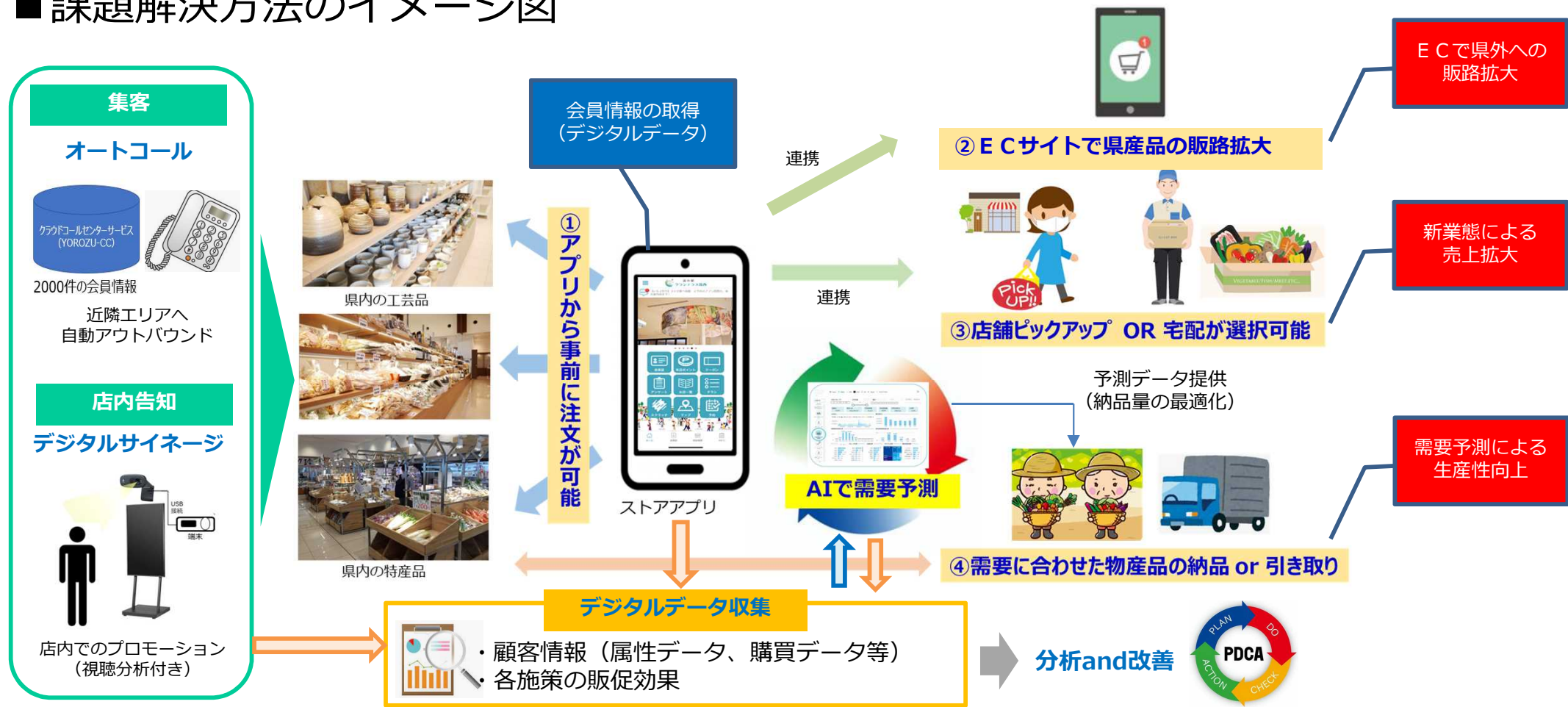
No.6 小売り・飲食業者および農業者の生産性向上と県産品の販路拡大に向けた道の駅を活用したデジタルと人の融合プロジェクト

(代表事業者) フォーバル (連携事業者) ちくせい夢開発

■ 事業概要

茨城県では新型コロナの影響と同時に、地域課題・観光課題を抱えている。そのような中「道の駅は」小売・飲食・農業製品・特産品を販売する複合施設として存在するため、DXを展開する各種モデルケースとして地域・業態・分野での発展に繋げる。

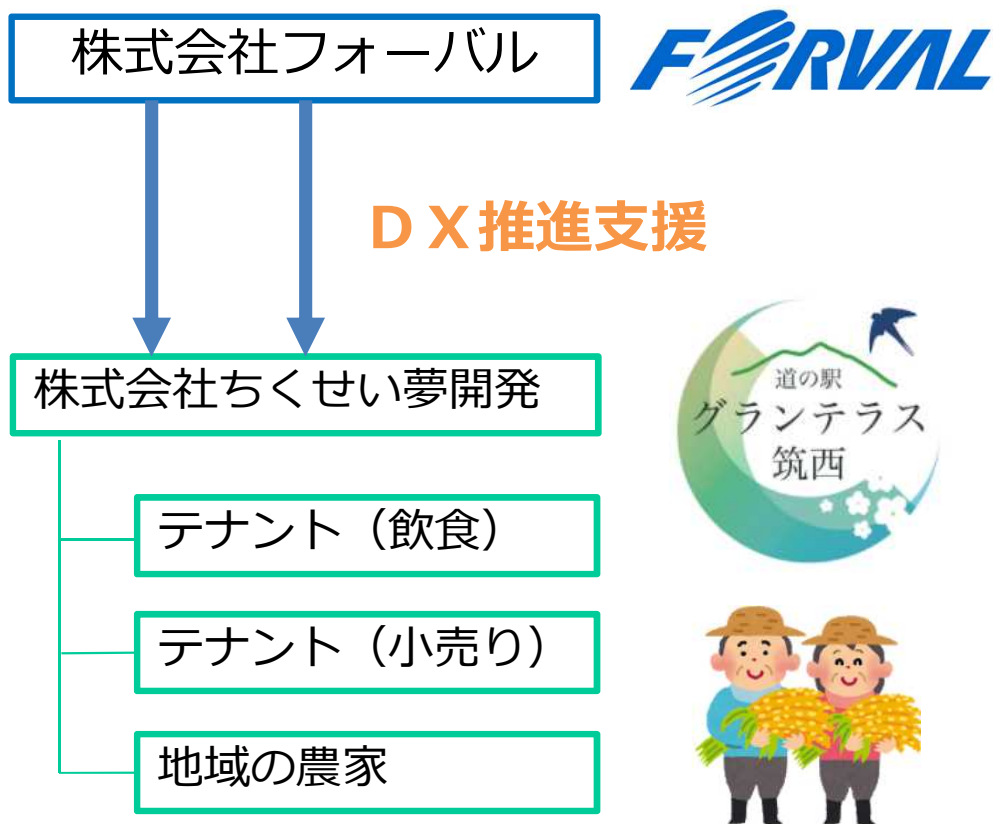
■ 課題解決方法のイメージ図



No.6 小売り・飲食業者および農業者の生産性向上と県産品の販路拡大に向けた道の駅を活用したデジタルと人の融合プロジェクト

(代表事業者) フォーバル (連携事業者) ちくせい夢開発

■ 実施体制



■ スケジュール

項	工程	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	事前準備										
2	運用設計										
3	システム設計										
4	システム開発										
5	システム導入テスト										
6	運用テスト・教育										
7	システム本導入										
8	運用・システム修正										
9	データ分析・課題抽出・改善検討										
10	マニュアル作成										
11	事業成果まとめ										

■ 実証成果目標 (最終月)

項	目標項目	目標値	単位
1	デリバリー実施件数/月	150	件
2	テイクアウト実施件数/月	100	件
3	テーブルオーダー活用率	60	%
4	デジタル会員獲得数/累計	5,000	件
5	ECでの購買金額/月	50	万円
6	需要予測的中率	90	%

■ アピールポイント

テーマは道の駅のDX。モバイルオーダーなどの新業態を始めながら、抽出したデータを分析し、地域を巻き込みながら需要予測まで展開する。また実験フィールドが複合施設である「道の駅」であることから、成功事例を横展開しやすいというメリットも大きい。